



中野区立緑野中学校 学校だより

探求・創造・共生

令和7年1月29日(水) 発行 第10号

「エコロジカルアプローチ」

校長 尾石 智洋

エコロジカルアプローチという言葉を知ったことはありますか。まだあまり聞き覚えのない言葉かもしれません。英語表記では「Ecological Dynamics Approach」となります。簡潔に説明すると、運動学習・スキル習得の理論で、スポーツの指導のあり方の実践方法の手引き、もっと言えばこれからの教育の在り方の手引きにもなりうるものです。例えばサッカーではジュニアの育成期に正式のコートやゴールでなく小さいサイズで試合を行ったり、ボールサイズを変更したりして練習や競技を行っています。要するに制約を加えて身に付けるべき最終的な能力の育成を図るということです。育成は教えるだけでなく目的をもって環境を設定して主体的に活動することが有効であるということです。こういったことが正しくできるのは、到達目標が明確であるからです。そのため指導者は、先を見据えてコーチングしていくことが大切となります。個々に応じた学び方や取り組み方を考えることが重要となります。

また、このアプローチの基本的な考え方として、実践に即した形を大切にすることや、本物を意識していくことなど様々な経験をするのが大切であるとしています。それは、目標を達成させるための意欲を高められるからです。また、スモールステップで目標を立てられるようになるからです。学校などの教育現場では既にこの理論を取り入れて実行していることが多々あります。例えば、集団生活をして様々な人と接することで互いに学び成長します。また、実際の体験活動を通して実践力を共に育てることもできます。更に、特別な講師や先生から実体験や知識を共有することで本物を感じ成長していきます。「百聞は一見に如かず」百聞も経験として大切にしながら1回の体験や経験は大きな成長を促します。改めてこのアプローチを意識していくことに大きな価値があると思います。

「個別最適な学び」の実現に向け、緑野中では1/21(水)に1年B組にて「長距離走」の単元で全教職員対象に授業研究を行いました。それぞれの課題を設定して走ることの楽しさや喜びを味わうことができたなら大成功の授業でした。様々な実践方法を取り入れながら授業を展開していきたいと思えます。

1月実施 生徒アンケートの結果について

1月21日と23日に学校生活に関する生徒アンケートを実施しました。当日はiPadを使い、Googleフォームで回答してもらいました。回答結果は以下の通りです。

1 実施日

1月21日(火)：1, 2年 1月23日(木)：3年

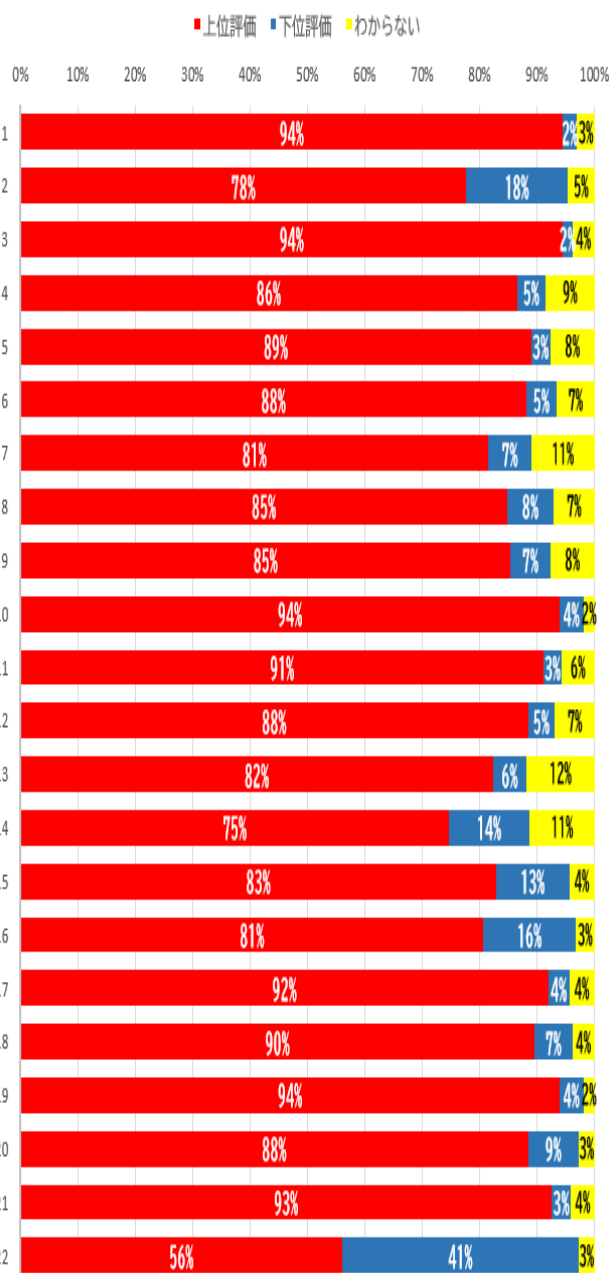
2 回答率

1年 86% (136名/158名) 2年 89% (117名/131名)

3年 75% (109名/146名)

3 設問と結果

- 1 緑野中は、明るく楽しい学校である。
- 2 緑野中は、あいさつがよくできている学校である。
- 3 緑野中は、学校行事などに意欲的に取り組んでいる学校である。
- 4 緑野中は、部活動に積極的に取り組んでいる学校である。
- 5 緑野中は、生徒会活動や委員会が充実している学校である。
- 6 緑野中は、校内の環境美化や安全対策に配慮された学校である。
- 7 緑野中は、いじめや暴力のない学校づくりに取り組んでいる学校である。
- 8 緑野中は、自分の将来について学習を進めている学校である。
- 9 緑野中は、心を育てる(人権教育、道徳)教育を熱心に行っている学校である。
- 10 緑野中は、ICT(電子黒板やiPad)を活用して授業を進めている学校である。
- 11 先生たちは、熱心に指導してくれる。
- 12 先生たちは、困っていることについてよく対応してくれる。
- 13 先生たちは、あなたが努力したことを認めてくれる。
- 14 先生たちは、生徒に対して公平に接している。
- 15 私は、学校へ行くのが楽しい。
- 16 私は、あいさつがよくできている。
- 17 私は、学校の友達との関係は良好である。
- 18 私は、熱心に学校行事に取り組んでいる。
- 19 私は、毎日の係活動(当番、清掃、係)を責任をもって行っている。
- 20 私は、授業に真剣に取り組んでいる。
- 21 私は、学校の規則を守り生活ができている。
- 22 私は、家庭学習をしっかりと取り組んでいる。(塾を除く)



分析

学校の取組に関する項目（1～14）と本人の取組や意識に関する項目（15～22）について、経年による比較を行っています。もっとも肯定的回答率が高かった設問は、1「緑野中は、明るく楽しい学校である」の95%でした。次いで、19「私は、毎日の係活動を責任をもって行っている」の94%、10「緑野中は、ICTを活用して授業を進めている学校である」の93%でした。生徒の主体的な取組を充実させ、学校の雰囲気をもさらに良い方向にしていけるよう努めてまいります。

肯定的回答率が伸び悩んだものは、22「私は家庭学習をしっかりと取り組んでいる」の56%が最も低く、次いで、14「先生たちは、生徒たちに公平に接している」の74%、2「緑野中は、あいさつがよくできている学校である」の78%となっています。学習習慣を身に付け、主体的に学習に取り組む態度が向上できるよう、学校での取組を改善してまいります。また、家庭学習では、ご家庭での協力（声掛けなど）をよろしくお願いします。

【肯定的回答が3%以上上昇したもの】

- | | |
|------------------------|--------------------|
| 8 将来についての学習を進めている（+5%） | 15 学校へ行くのが楽しい（+3%） |
| 19 係活動を責任をもって行う（+5%） | 21 規則を守った生活（+3%） |

【肯定的回答が3%以上下降したもの】

- | | |
|--------------------|-------------------|
| 2 あいさつができている（▲7%） | 3 学校行事などに意欲的（▲3%） |
| 10 ICTを活用した授業（▲3%） | 19 家庭学習の取組（▲4%） |

1月11日（土） 道徳授業地区公開講座

都内公立小・中学校では毎年道徳授業地区公開講座を開催しています。本年度は「我が国の伝統と文化の尊重、国を愛する態度」に関する授業を実施し、保護者・地域の皆様に公開しました。当日は各クラスでの授業の後、講談師の神田山緑氏より日本の伝統文化である講談についてのお話や生徒の体験、「耳なし芳一」の講談を披露していただきました。

また、意見交換会では多数の保護者・地域の皆様にご参加いただきました。「日本の伝統文化を知る機会があり、ありがたい」「道徳の授業の大切さについて理解できた」などの感想が寄せられました。今後も道徳教育の充実のために、努めてまいります。



1月21日(火) 校内研修(1年B組 保健体育)

1月21日(火)5校時に保健体育の研究授業を行いました。当日は1年B組の皆さんが保健体育の授業で、陸上競技(長距離走)の学習を行いました。一人ひとりの興味・関心や能力、課題に応じて自ら練習メニューや目標を決め、タイムを競ったり、自分のペースで走り続けたりしました。

生徒は意欲的に取り組み、当日ご指導いただいた東京学芸大学の佐藤教授からもお褒めの言葉を頂きました。



1月24日~28日 中野区立中学校連合作品展

国語(書写)、美術、技術、家庭、特別支援学級の各校代表作品を展示する連合作品展が中野区立教育センターで開催されました。創意工夫ある作品が多数展示され、来場された方は興味深く鑑賞していました。

連合作品展で展示した作品の一部は、2月14~16、18、19日に東京都美術館で開催される東京都立学校美術展覧会でも展示されます。また、2月15日(土)午前中、保護者・地域の方を対象とした校内作品展を本校で開催しますので、ぜひお越しください。



生徒会企画 1・2年生から3年生への応援メッセージ

3年生は都内私立高校推薦入試を皮切りに進路決定に向けて最後の頑張りに励んでいます。そのような中で、生徒会執行部では3年生受験応援企画「合格祈願 絵馬メッセージ」を企画し、1階職員玄関付近に1・2年生が作成した絵馬メッセージを展示しています。これまでの感謝の気持ちと合格祈願のメッセージを励みに、力を発揮してくれることを願っています。

